

2026 年度 医療安全管理者養成研修募集要項

本研修は、2026 年度より高知県看護協会が主催いたします。厚生労働省の「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に基づく研修内容であり、診療報酬における「医療安全対策加算」の研修要件を満たすものです。

* 日本看護協会のスキームにて実施、プログラム通りに講義・演習を行うと共に、研修運営者に加えて、演習・質疑に対応する演習支援者を配置し、受講者への十分な指導体制を確保することをもって、厚生労働省保険局医療課より承認を得ております。

1. 研修概要

1) 研修目的

所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる

2) 研修目標

- ① 安全管理業務を遂行するために必要な以下に関する基本的な知識と技術を習得する
- ② 演習を通して実践方法を習得する

3) 受講方法と受講期間

① オンデマンド研修（35 時間）

* 2026 年 8 月 1 日～11 月 13 日（集合研修の 1 週間前まで）の期間に、各自でオンデマンド研修をすべて受講すること

② 集合研修（5 時間）

* 2026 年 11 月 20 日（金）9:30～16:00

4) 対象者

以下の 3 要件をすべて満たす者

- ① 医療安全管理者または 1 年以内に医療安全管理者になる予定の者
 - ② 上司の推薦があること
 - ③ 2026 年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能であること
- 上記要件のほか、看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい

5) 集合研修開催場所

高知県看護協会会館 2 階研修室 I・II

6) 募集定員

50 名程度

7) 受講料

●会員：30,800 円（税込） ●非会員：61,600 円（税込）

8) 申込期間

2026 年 6 月 1 日（月）～7 月 1 日（水）

9) 申込方法

(1)研修申込システム「Kangonoto」からの申込み → <https://kangonoto.com/>

申込期間が終了しましたら、受講料振込案内メールをお届けいたします。支払い期限までに手続きを行ってください。

(2)受講推薦書の提出

高知県看護協会ホームページの『教育・研修』→『医療安全管理者養成研修』より、『**受講推薦書（様式1）**』をダウンロードし、必要事項を記入の上、受講申込期間内に提出してください。

【提出方法】は、以下の①②のどちらかの方法で提出してください。

① オンライン提出

i) 提出書類を PDF 化する。

ii) 高知県看護協会ホームページの「教育・研修」→「医療安全管理者養成研修」の「提出書類フォーム」に必要事項(氏名・連絡先メールアドレス・連絡先電話番号)を入力する。

iii) 「ファイル」に提出書類データを添付する。

iv) 「確認画面」で入力内容および添付ファイルを確認する。

vi) 募集期間内に「送信」ボタンを押し、表示された「問い合わせ番号」を記録しておく。

② 郵送提出

下記宛先に提出書類を、簡易書留・レターパック等の配達状況が確認できる方法で郵送する。

(到着期限厳守)

〒780-8066 高知市朝倉己 825-5

公益社団法人高知県看護協会 医療安全管理者養成研修 担当者宛

(問い合わせ：TEL 088-844-0678)

10) 受講者の決定

高知県看護協会 医療安全管理者養成研修担当にて、申込登録・受講推薦書受領・受講料振込が確認できましたら、推薦者である上司および本人宛に文書で通知いたします。

11) 研修プログラム

別紙参照

12) 研修修了証書の発行

すべての研修を修了後に修了証書を発行いたします。

なお、集合研修までにオンデマンド研修の受講を全て終えていない場合は、研修の修了は認められませんので、ご注意ください。

(別紙) **高知県看護協会 医療安全管理者養成研修プログラム**

① オンデマンド研修

- 視聴期間；2026年8月1日(土)～11月13日(金)
- 受講者は各自オンデマンド配信システム(eden)より講義を受講してください。
集合研修までに受講をすべて終わってください(各講義およびミニテスト合格)。
- 受講のための各個人用ID等が連絡先メールアドレスに届きます。
- オンデマンド講義の講義資料は、オンデマンド配信システムにPDFで掲載されます(各受講者にてダウンロード可能)。

【プログラム】

【日本看護協会提供のオンデマンド講義】1章～5章(35時間)

章	単元／主な内容	時間
1章 医療安全の基礎知識		
1	我が国の医療安全施策の動向と医療安全管理に関する法令や制度、指針等 1. 我が国の医療安全施策と医療安全確保の仕組み 2. 医療安全確保の仕組みを動かす体制	90分
	3. 医療安全管理に関する法令や制度 4. 医療安全管理に関する指針等	90分
	地域における連携 1. 地域の医療機関の連携 2. 診療報酬算定項目「医療安全対策地域連携加算」について	30分
	医療の質向上と評価 1. 医療の質の評価 2. 医療の質向上のための取り組み例 3. 医療の質と安全確保	60分
	医療事故発生の機序とヒューマンエラー 1. ヒューマンファクター、ヒューマンエラーについて 2. 医療事故発生の機序 3. 心理学・人間工学からみた医療安全(疲労とヒューマンエラー、権威勾配など) 4. ヒューマンエラーを防ぐためには	150分
2章 安全管理体制の構築		
2	職種横断的な組織作り 1. 組織運営に関する基本的知識 ・組織とは何か ・組織文化 ・組織マネジメント	90分
	2. チーム医療に関する基本的知識・他職員と役割分担や協働に関する知識 ・テクニカルスキルとノンテクニカルスキル ・院内各部署との連携 ・医療機器安全管理者、医薬品安全管理者との連携	90分
	3. 会議運営の技術や適切なコミュニケーションの推進に関する知識 ・医療対話推進者	90分
	医療安全管理に関する組織的活動の評価と調整	60分
	院内の医療安全管理体制の整備 1. 医療安全管理部門や委員会の業務 2. 医療安全管理者の役割と業務 3. 医療安全管理部門と他部門との連携	90分

3章 医療安全についての職員研修の企画・運営		
3	研修の企画、運営、評価 1. 研修受講者の背景、事前の知識、学習意欲等の把握の仕方 2. 研修の企画に関する知識(時期の選定、講師や対象者の選定、内容と到達度の設定、方法の選定、年間計画の立案) 3. 医療安全のための教育教材とその活用方法 4. アンケート等による参加者の感想やテキスト分析など、研修評価の方法 5. 研修計画全体の評価	180 分
	研修企画書の作成 ・講義と個人ワークを含む	90 分

4章 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価		
4	医療事故報告、ヒヤリ・ハット報告制度および院内報告制度 1. 医療事故、インシデントとは 2. 報告制度の目的	30 分
	医療安全に資する院内外の情報を収集する方法 1. 医療機関内の報告制度 ・安全文化と報告制度 ・医療機関内の情報収集と報告の仕組み ・院内で報告を推進するための方策 ・収集した情報や報告内容の活用 ・各部門及び部署への還元	120 分
	2. 医療機関外の報告制度とその活用 3. 医療機関外の患者安全情報の例 4. 情報の抽出と周知方法	60 分
	リスクの確認方法 1. 結果の重大性や発生頻度からみた事象の重大性やその対応の緊急性についての分類の方法等 2. 医療事故発生予防のための方法 3. 危険を発見するための能力開発方法	60 分
	事例の分析方法 1. 定性的分析の基本 2. 定量的分析の基本 ・有害事象(事故)分析 ・m-SHELL モデル ・4M4E モデル ・特性要因図	120 分
	未然防止・再発防止対策の立案と評価 1. 安全対策立案の基本 2. すでに検討あるいは確立されている安全対策例 3. 安全対策や再発防止策等についてのフィードバック、周知の方策	90 分
	対策評価のための知識、技術、方法	60 分
	事象の分析と対策立案の実際 ・講義と個人ワークを含む	120 分

5章 医療事故発生時の対応		
5	医療事故発生時の対応 1. 医療事故発生時の対応に関する基本原則 2. 医療事故発生時の対応の実際	60 分
	医療事故発生時の初動対応に必要な知識	90 分
	医療事故に関与した職員の事故発生後の精神的支援等に必要な知識 1. 医療事故に関与した職員の事故発生後の精神的支援等の必要性と方法 2. 医療事故に関与した職員を擁護し、サポートするための組織的対応	60 分
	医療事故調査制度事案の対応 1. 医療事故調査制度の概要 2. 医療事故調査制度における対応の実際	120 分

② 集合研修（演習）

- 日程：2026 年 11 月 20 日（金） 9:30～16:00（＊休憩時間含む）
- オンデマンド講義（ミニテスト含め）を全時間受講していない場合は、受講は不可となります。ご注意ください。

【集合研修】 6 章（5 時間）

章	単元／主な内容	形式	時間
6	安全文化の醸成 1. 安全文化と4つの下位文化 2. 安全文化の醸成に向けた活動	講義	60 分
	※時間配分は例です ①演習の導入(20 分) ②グループワークを行う(90 分) ・状況設定をもとに医療安全の体制整備や組織文化の醸成の方法を検討する ・受講者は医療安全管理者という設定とし、これまでのすべての講義の知識・技術を統合して、解決方法や自身の行動を考えられるようにする ・ファシリテーターはグループの全員が発言できているか、受講者が自分のこととして考えられているか等を観察し、受講者の力を引き出すような関わりをする ③全体発表(40 分) ・グループ討議の結果を発表し、質疑応答等を交えて全体で共有する ・医療安全管理者として安全文化醸成のための行動のポイント(模範解答)を学ぶ ④まとめ(30 分) ・受講者へのフィードバックを与えとともに、安全文化の醸成に向けた活動の実際で留意すべきことや具体的な方法を伝える	状況設定事例に基づく演習	180 分
	患者、家族の医療への参加 1. 患者、家族の医療への参加方法 2. 遺族の立場で考える医療安全	講義	60 分